

調査部長 大谷四郎
 青年部長 福山秀雄
 會計 組合長兼務
 會計監査 宮澤竜造
 書記 山本 廣
 新井平吉
 小林孫兵衛
 右及申(通)報候也

「別記」

本部報告

一 一般報告

我東京官業労働組合は大正十四年迄の創立より年々盛相すること四年今この大正
 リ来る趾を歩み至るに、實に苦闘のものと云ふべく、或時は可成りの勢力を得た
 かと思へば、或時自らも南島の無理解と圧迫のため危機に逢ふ等波亂重疊、一
 史である。然し我等に於ける唯一の労働労働組合としてあらざる苦闘と闘
 くとの孤島を穿り、一歩一歩の地歩を固めて、今や軍備法整備の状況にある。我東京
 の労働労働運動として往年の歴史的な考らざるまわらざることを得た。
 昨年十月の協大理事會(大會に代る)開行は五百名満ちた。これは、我々組合員も亦
 九月末現在二千。五名即ち約倍張の増加を呈し、我々労働組合員増加組合員
 今般教の兵に於ては第三任にある。
 七年度中に於ける労働改良については陸軍勸業費(解雇手南及退職手南)の増
 減並に千倍増徴の割増物産の増進等も獲得し、又東京工教及大橋陸軍勸業費材料
 教の増進費増進問題に一歩を進めしむる。
 更ん陸軍勸業費に於ける社会長家虎を支持し、二月第一回の開會選挙及六
 月の東京労働組合の改選等に善戦し遺憾なく我々の防衛的勢力を發揮した。